

令和6年度 岩瀬日本大学高等学校自己評価結果及び外部評価

校是	日本大学が掲げる「自主創造」の理念のもと、主体性を持ち、グローバルな視野で活躍できる人物の育成を目指す。その上で、「調和」「至誠」「自立」の三箇条を、教職員・生徒の座右の銘とし、終生の課題として研鑽する。
----	--

スクール・ミッションと重点目標	変化し続ける社会の中で、主体的に学び、自分の将来を切り拓くことができる人材を育成する。 1) 地域連携及び高大連携の推進や総合型選抜における課題解決型の入試への対応 2) 生徒が「問い」を立て、主体的に行動し、気づきを大切にする授業展開 3) 社会的・職業的自立に向け、基盤となる資質・能力を身につける
-----------------	---

令和6年度の取り組み重点項目

○学力向上

- ・ 地域連携および高大接続の推進や、総合型選抜における課題解決型の入試に対応する
- ・ 活動や学校行事において目的、意図の明確化を図る
- ・ 3観点に基づく学習評価の検証と指導改善
- ・ 指導内容の確認と徹底
- ・ 生徒、教員の授業に対する姿勢の向上
- ・ 一人一台端末を最大限に活かしICTを利活用した学習指導
- ・ 生徒の学習の質と量の把握
- ・ 公開授業ウィークの設定
- ・ 社会に目を向けるための新聞の活用
- ・ 生徒の居場所づくり

○学校生活

- ・ 普段から生徒の様子を観察しいじめの未然防止を図る
- ・ コース・学年と連携、協力し校則を遵守させるとともに、ルールがなぜあるのか、考えさせる
- ・ 爽やかな挨拶や学校外での節度ある態度を心掛けさせ、マナーの向上を目指す
- ・ 清掃の確認と徹底を図る

○進路指導

- ・ 大学入学共通テストや主体性評価等、高大接続改革や新しい入試制度について情報を収集し共有する
- ・ 生徒が自主的に進路について調べ、相談できる体制を作る
- ・ 第一志望の進路を実現できるよう進路行事を精選し、企画する
- ・ 面接指導や小論文指導に関わる教員に資料を提供できるようにする

○生徒会・部活動

- ・ 生徒からの意見を聞くなどして、生徒の学校生活の充実を図る
- ・ 生徒が自ら計画し、行動できるように生徒会行事を工夫する
- ・ 部活動を通じて豊かな人間教育を推進し、社会貢献できる人材の育成に努める

令和6年度の取り組み結果

○学力向上

- ・3観点に基づく学習評価の検証を行い、教科内で共有を図ることができた。
- ・総合的な探究の時間を中心に探究活動に取り組んだ。3月には最終発表会を行い、保護者への公開を行った。
- ・Chromebookの利活用は着実に増加している。
- ・公開授業ウィークを設定し、授業公開を行った。見学者には振り返りシートを記入してもらい、授業改善に生かすことができた。

○学校生活

- ・HRなどでこまめに生徒の様子を観察しつつ、いじめアンケートを実施して実態を把握し、必要に応じて相談したり指導したりした。
- ・毎日正門で生徒と挨拶をしながら身だしなみを確認し、必要に応じて指導した。また、年末に身だしなみについての自己チェックアンケートを実施し、生徒自身が自分の身だしなみが適切かどうかを確認するように促した。
- ・毎日清掃の確認を行い、学習環境の整備を心がけた。

○進路指導

- ・受験情報を取捨選択した上で随時提供し、また時期に応じて活用を提案した。
- ・様々な進路行事を実施し、大学合格だけでなく将来を見据えた進路選択ができる体制を整えた。
- ・日大総進コースの生徒については日本大学関係の合格者は101名となった。
- ・国立特進コースの生徒については難関私立大学の合格を多数勝ち取った。

○生徒会・部活動

- ・校則について考え、アンケート調査を実施。生徒会を通し、生徒のニーズを把握するように努めた。
- ・強化のみならず、周囲の生徒の模範となるようなマナーの向上を呼びかけ、各部とも各種大会で活躍した。
- ・女子卓球部、女子硬式野球部、ライフル射撃部、ソーシャルメディア部が全国大会に出場した。

自己評価結果（総合）

評価基準	
A：よくできている，B：できている，C：あまりできていない，D：できていない	B

1. 学力向上に関する事項

①授業に関する項目	評価項目 (1)指導目標は十分達成されているか。 (2)教科の目標・指導内容・評価計画等を明確にした年間指導計画を作成しているか。 (3)生徒一人一人が主体的に学習に取り組むための工夫がなされているか。 (4)生徒個々の状況に合わせた指導を行っているか。 (5)適切な成績・進級判定ができているか。 (6)総合的に評価してこの授業に満足しているか。	B
②学習環境および連携に関する項目	評価項目 (1)施設・設備は教育活動に支障がないか。 (2)各コースに合ったカリキュラム編成ができているか。 (3)1クラスの人数は適正であるか。 (4)生徒の学習、課外活動に対して、図書室等の施設、運営は有効に機能しているか。 (5)生徒の成績や学習状況が把握され、その情報が共有化されているか。 (6)問題を抱える生徒への指導方針が共有化され、統一された指導がなされているか。	B
③成績管理および教員研修に関する項目	評価項目 (1)生徒指導要録の記入、指導、点検、保管は的確になされているか。個人情報の管理は徹底されているか。 (2)公開授業を計画的に実施できたか。積極的に公開授業を参観し、コメントを行ったか。 (3)授業改善に向けた組織的な取り組みや工夫がされているか。 (4)校内・校外への研修参加を奨励したり研究紀要へ出稿を促す等、教職員の資質の向上に配慮しているか。	B

2. 学校生活に関する事項

①学年および学級運営に関する項目	評価項目 (1)学年・学級の目標、指導計画を明確に示され、運営されていたか。また、その反省を行ったか。 (2)LHRの時間が計画的に運営されていたか。また、その反省を行ったか。 (3)学年の役割分担を果たし、組織の一役を担っているか。 (4)学校行事、修学旅行などの事前指導、計画、反省、報告は適切であったか。 (5)生徒の健康や生活状況が把握され、その情報を共有し指導できたか。 (6)生徒の成績や学習状況が把握され、その情報が共有され指導できたか。 (7)問題を抱える生徒への指導方針が共有化され、指導できたか。	B
②学校生活に関する項目	評価項目 (1)多様化する生徒を適切に指導する組織体制が整えられているか。 (2)生徒の人権や個性を尊重し、生徒の実態に即した指導がなされているか。 (3)家庭・地域・関係諸機関との連絡・連携は適切に行われているか。 (4)生徒は生き生きと学校生活を送っているか。 (5)中退者を出さないための工夫・取り組みはなされているか。 (6)生徒との信頼関係を築くことができたか。 (7)どの生徒にも公平に接していたか。 (8)基本的な生活習慣を身につけさせるための指導は適切であったか。	B

3. 進路指導に関する事項

①学校組織としての進路指導に関する項目	評価項目 (1)生徒の特性を考慮し、進路希望を踏まえた年間指導計画を作成しているか。 (2)入学から卒業までを見通した系統的な指導計画を作成しているか。 (3)生徒の進路選択に役立ち、関心・意欲を高める工夫がなされているか。 (4)生徒の体験的活動を積極的に取り入れているか。 (5)生徒や保護者に対して、学校が持っている情報を適切に伝えているか。また、分かり易く伝達する工夫がなされているか。 (6)生徒の進路選択にあたり、生徒や父母等の意見・要望を十分に把握し尊重するように努めているか。 (7)生徒の情報収集のための施設・設備は、十分かつ適切に配置されているか。 (8)進学や就職のみでなく、職業観を醸成させる指導に努めているか。 (9)学校行事に進路行事が適切に計画されているか。 (10)実力テスト等外部模試が生徒の実態にあって実施され、活用されているか。 (11)進路目標を達成することができたか。	B
②教員個々の進路指導への関わり関する項目	評価項目 (1)生徒の個性・適性・希望・能力に応じた指導ができたか。 (2)生徒の進路選択のために、きめ細やかな情報提供を行ったか。 (3)進路指導の継続性、進路説明会の実施などは適切であったか。 (4)年間の進路指導計画は適切であったか。 (5)保護者とのコミュニケーションは円滑に行われたか。 (6)小論文、志望理由書などの事前指導が十分できたか。	B

4. 生徒会・部活動に関する事項

①生徒会・部活動やボランティア活動に関する項目	評価項目 (1)生徒会活動に対する指導は、適切に実施されているか。 (2)生徒の意見を取り入れながら生徒会活動を活性化させ、学校の改善に役立っているか。 (3)生徒会活動では、ボランティア活動や交流活動を行うなど自主性、社会性を育むような工夫がなされているか。 (4)生徒会活動を通して、自主性、自立性を高め、豊かな人間関係を育成する工夫をしているか。 (5)生徒会が自主的に部活動や学校行事を運営するなど、その活動を活性化するような工夫をしているか。 (6)学校行事では、校風や教育目標を理解し、特色を出すような工夫や改善を図っているか。 (7)クラブ活動等、課外活動は活発に行われているか。 (8)クラブ活動等、課外活動の指導体制は適切であるか。 (9)生徒会活動、クラブ活動を行うのに十分な施設や設備は整えられているか。 (10)生徒会費の活用を適正になされているか。	B
②課外活動	評価項目 (1)活動の間、常にその場に立ち会うようにしたか。 (2)生徒の意識や状況を踏まえ、自立的・意欲的な活動の推進に努めたか。 (3)生徒の能力に配慮して指導を進めていたか。 (4)保護者とのコミュニケーションは十分にとれていたか。 (5)生徒の出欠席等の状況を把握し、適切な指導を行ったか。 (6)目標を達成または、満足できる成果を上げることができたか。	B

令和6年度岩瀬日本大学高等学校外部評価結果報告書

1. 令和6年度外部評価委員会の実施状況

本年度はシステム障害のため、文書でのやり取りで評価して頂きました。

①日 時 令和7年3月12日（水）資料発送

3月21日（金）返送（投函締切）

②回答者（委員14名）

青木砂代（父母と教師の会会長），平香央里（後援会会長）

西岡勇一郎（体育後援会会長），福留洋明（同窓会），大塚寿恵（桜川支部）

廣木貴史（下館支部），齋藤譲（北つくば支部），岩崎友和（県西支部）

富田清美（ときわ支部），中山一美（栃木支部），高野健治（OB）

泉優子（OG），川俣均（東友部区長），村田則文（岩瀬東中学校校長）

2. 評価事項

令和6年度の外部評価事項は、本校の教育活動を次の4項目に大分類した。

①学力向上に関わる事項 ②学校生活に関わる事項

③進路指導に関わる事項 ④生徒会・部活動に関わる事項

3. 外部評価方法及び評価基準

学校の教育活動の観察や教育活動に関する質疑応答を通し、本校の自己評価結果

（A：よくできている，B：できている，C：あまりできていない，
D：できていない）が適切であったかを

（もっと高い評価をすべき，校内評価は適切である，
もっと厳しい評価をすべき）で評価する。

4. 評価に使用した参考資料

①令和6年度岩瀬日本大学高等学校自己評価結果及び外部評価票

②各種アンケート結果

・学校自己点検アンケート（本校の専任教員の教科別，学年別に集計）

・教員自己評価アンケート

（本校の全教員が，自分が関わった教育事項について回答したものの集計）

・生徒授業アンケート（9月実施），高校生活アンケート（12月実施）

（本校の生徒が学校生活や授業について回答したものの集計）

③令和6年度進路状況（3月10日現在のもの）

④令和6年度発行の広報誌「桜真」

5. 外部評価結果

自己評価結果（総合）

校内評価は適切である

1. 学力向上に関する事項

①授業に関する項目	評価項目 (1)指導目標は十分達成されているか。 (2)教科の目標・指導内容・評価計画等を明確にした年間指導計画を作成しているか。 (3)生徒一人一人が主体的に学習に取り組むための工夫がなされているか。 (4)生徒個々の状況に合わせた指導を行っているか。 (5)適切な成績・進級判定ができていないか。 (6)総合的に評価してこの授業に満足しているか。	適切
②学習環境および連携に関する項目	評価項目 (1)施設・設備は教育活動に支障がないか。 (2)各コースに合ったカリキュラム編成ができていないか。 (3)1クラスの人数は適正であるか。 (4)生徒の学習、課外活動に対して、図書室等の施設、運営は有効に機能しているか。 (5)生徒の成績や学習状況が把握され、その情報が共有化されているか。 (6)問題を抱える生徒への指導方針が共有化され、統一された指導がなされているか。	適切
③成績管理および教員研修に関する項目	評価項目 (1)生徒指導要録の記入、指導、点検、保管は的確になされているか。個人情報の管理は徹底されているか。 (2)公開授業を計画的に実施できたか。積極的に公開授業を参観し、コメントを行ったか。 (3)授業改善に向けた組織的な取り組みや工夫がなされているか。 (4)校内・校外への研修参加を奨励したり研究紀要へ出稿を促す等、教職員の資質の向上に配慮しているか。	適切

2. 学校生活に関する事項

①学年および学級運営に関する項目	評価項目 (1)学年・学級の目標、指導計画を明確に示され、運営されていたか。また、その反省を行ったか。 (2)LHRの時間が計画的に運営されていたか。また、その反省を行ったか。 (3)学年の役割分担を果たし、組織の一役を担っているか。 (4)学校行事、修学旅行などの事前指導、計画、反省、報告は適切であったか。 (5)生徒の健康や生活状況が把握され、その情報を共有し指導できたか。 (6)生徒の成績や学習状況が把握され、その情報が共有され指導できたか。 (7)問題を抱える生徒への指導方針が共有化され、指導できたか。	適切
②学校生活に関する項目	評価項目 (1)多様化する生徒を適切に指導する組織体制が整えられているか。 (2)生徒の人権や個性を尊重し、生徒の実態に即した指導がなされているか。 (3)家庭・地域・関係諸機関との連絡・連携は適切に行われているか。 (4)生徒は生き生きと学校生活を送っているか。 (5)中退者を出さないための工夫・取り組みがなされているか。 (6)生徒との信頼関係を築くことができたか。 (7)どの生徒にも公平に接していたか。 (8)基本的な生活習慣を身につけさせるための指導は適切であったか。	適切

3. 進路指導に関する事項

①学校組織としての進路指導に関する項目	評価項目 (1)生徒の特性を考慮し、進路希望を踏まえた年間指導計画を作成しているか。 (2)入学から卒業までを見通した系統的な指導計画を作成しているか。 (3)生徒の進路選択に役立ち、関心・意欲を高める工夫がなされているか。 (4)生徒の体験的活動を積極的に取り入れているか。 (5)生徒や保護者に対して、学校が持っている情報を適切に伝えているか。また、分かり易く伝達する工夫がなされているか。 (6)生徒の進路選択にあたり、生徒や父母等の意見・要望を十分に把握し尊重するように努めているか。 (7)生徒の情報収集のための施設・設備は、十分かつ適切に配置されているか。 (8)進学や就職のみでなく、職業観を醸成させる指導に努めているか。 (9)学校行事に進路行事が適切に計画されているか。 (10)実力テスト等外部模試が生徒の実態にあって実施され、活用されているか。 (11)進路目標を達成することができたか。	適切
②教員個々の進路指導への関わり関する項目	評価項目 (1)生徒の個性・適性・希望・能力に応じた指導ができたか。 (2)生徒の進路選択のために、きめ細やかな情報提供を行ったか。 (3)進路指導の継続性、進路説明会の実施などは適切であったか。 (4)年間の進路指導計画は適切であったか。 (5)保護者とのコミュニケーションは円滑に行われたか。 (6)小論文、志望理由書などの事前指導が十分できたか。	適切

4. 生徒会・部活動に関する事項

①生徒会・部活動やボランティア活動に関する項目	評価項目 (1)生徒会活動に対する指導は、適切に実施されているか。 (2)生徒の意見を取り入れながら生徒会活動を活性化させ、学校の改善に役立っているか。 (3)生徒会活動では、ボランティア活動や交流活動を行うなど自主性、社会性を育むような工夫がなされているか。 (4)生徒会活動を通して、自主性、自立性を高め、豊かな人間関係を育成する工夫をしているか。 (5)生徒会が自主的に部活動や学校行事を運営するなど、その活動を活性化するような工夫をしているか。 (6)学校行事では、校風や教育目標を理解し、特色を出すような工夫や改善を図っているか。 (7)クラブ活動等、課外活動は活発に行われているか。 (8)クラブ活動等、課外活動の指導体制は適切であるか。 (9)生徒会活動、クラブ活動を行うのに十分な施設や設備は整えられているか。 (10)生徒会費の活用を適正になされているか。	適切
②課外活動	評価項目 (1)活動の間、常にその場に立ち会うようにしたか。 (2)生徒の意識や状況を踏まえ、自立的・意欲的な活動の推進に努めたか。 (3)生徒の能力に配慮して指導を進めていたか。 (4)保護者とのコミュニケーションは十分にとれていたか。 (5)生徒の出欠席等の状況を把握し、適切な指導を行ったか。 (6)目標を達成または、満足できる成果を上げることができたか。	適切